

令和元年 第2回 市議会定例会

市長所信表明(要旨)

蕪崎市

本日ここに、令和元年第2回市議会定例会の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

約200年ぶりとなる歴史的な皇位の継承により、新天皇陛下が5月1日に即位され、一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる日本でありたいとの願いが込められた、新たな「令和」の時代が幕を開けました。

当日は本市でも多くの婚姻届けがあり、記念撮影用のウエディングボードなどを設置し、届け出をされた方々の門出の日が、思い出深いものになるよう、祝福いたしました。

また、即位日等休日法の施行に伴う大型連休につきましても、事前の周知や職員対応により、懸念されていた混乱もなく安堵したところであります。

さて、先月開催された県高校総合体育大会のサッカー競技において、葦崎高等学校が5年ぶりに優勝を果たし、過日行われました関東高校サッカー大会におきましても23年ぶりに決勝の舞台へと進出し、準優勝を飾りました。

強豪校を撃破して、令和初の県王者となり、また、関東大会においても優秀な成績を収められ、多くの市民に喜びを与えてくれました。

これもひとえに、選手の努力と関係者各位のご支援の賜物であるとあらためて感謝申し上げますとともに、今後のさらなる活躍を大いに期待しております。

過日の葦崎北西小学校給食室の火災につきましては、児童・保護者をはじめ関係者の皆さまに、多大なご心配とご迷惑をおかけいたしました。

今後は、早期復旧を目指すとともに、調理業務の安全管理を徹底し、安心安全な給食の提供に努めてまいります。

また、先月11日に発生した停電では、東京電力変電所の火災が原因となり、本市の一部地域において、暗闇の中で3時間にわたり不安な時間を過ごすなど、生活に大きな支障をきたしました。

日常生活における電気への依存をあらためて、痛感したところでありますが、今後は、さらなる情報収集や市民への周知などの対応に努め、東京電力との連携を強化し、不測の事態に備えてまいります。

次に、本年度の主な事業の動向と新たな取り組みについて申し上げます。

始めに、子育て環境の充実についてであります。

来たる7月28日に、ニコリ全館において「にらちびフェスティバル」を開催いたします。

今回は、市制施行65周年を記念し、屋内遊園地型のプロジェクションマッピングや、韭崎工業高等学校の生徒による「夏休みの友 工作教室」など、より充実した内容となるよう取り組んでまいります。

次に学校教育の充実についてであります。

様々な理由で学校に行くことができない子どもたちの「心のよりどころ」となり、学校への復帰を支援するため、「かがやき教室」と命名した適応指導教室を本町地内に開所いたしました。

地域の宝であるすべての子どもたちが輝き、新たに自分の夢に向かって進んでいけるよう支援してまいります。

次に、文化・芸術の振興についてであります。

市制施行65周年記念事業として、8月3日から9月12日まで、ニコリ地下アートギャラリーにおいて「相田みつを展」を開催いたします。

相田氏の代表作である「にんげんだもの」を中心とした作品などの展示のほか、開催初日には相田みつを美術館館長によるギャラリートークを開催することとしております。

今もなお、多くの人々に感動を与え続けている相田氏の「書」と「ことば」から、「生きるちから」を感じていただく機会として、多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

また、国の重要文化財である武田八幡宮本殿の修理に、約40年ぶりに取り掛かりました。

先月には現地見学会を開催し、宮大工の持つ伝統技法をより深く学ぶ貴重な機会となりました。

工事の終わる8月には再び武田家の氏神らしい雄大な姿を目にすることができるものと期待しております。

次に、医療体制の充実についてであります。

明年度から実施されます「新臨床研修制度」に先駆けて、本年4月から一般外来と地域医療を学ぶ臨床研修医を山梨大学医学部附属病院から県内で唯一受け入れております。

これに伴い研修指導医の常勤医師1名が派遣されることになり、懸案でありました内科常勤医師の増員を図ることができました。

また、「韭崎おはな産婦人科」が新たに開院し、安心して子どもを産み、育てることができる環境づくりに大きな役割を担っていただけるものと確信しております。

次に、防災体制の強化についてであります。

防災行政無線のデジタル化に併せ、本年4月から防災アプリを導入し、防災行政無線の放送内容のほか、イベント情報や広報誌などの配信を開始いたしました。

既に約1,500人の方々にアプリを登録していただいておりますが、今後も広報や地区回覧などにより、周知に努めてまいります。

また、4月の消防団辞令交付式において、「女性消防協力隊」の20名に任命書を交付いたしました。

今後は、保育園での火災予防イベントへの参加をはじめ、非常食の試食会などを行い、防災・減災活動や火災予防の啓蒙活動に取り組んでいただくこととしております。

次に農林業の振興についてであります。

葦崎産ワインの産地化・ブランド化を図るため、先月ワイナリー関係者やぶどう生産者からなるワインプロモーション実行委員会を設立いたしました。

栽培や収穫体験を通じ、より深くワインを知る「ワインセミナー」を始め、「ワインフェス in にらさき」をさらに充実させるなど、葦崎産ワインの普及・啓発に努めてまいります。

次に、商工業の振興についてであります。

上ノ山・穂坂地区工業団地第2期造成事業につきましては、ワイン輸入輸出・卸売業の株式会社カサピノジャパンへの引き渡しが終わりを、今月には新たなボトリング工場の操業を開始すると伺っております。

また、残り4区画のうち3区画につきましては、現在3社と協定の締結を終え、手続きが済み次第、随時引き渡す予定であり、1区画につきましても、引き続き入居企業の誘致に鋭意取り組んでまいります。

次に、魅力ある観光施策の充実についてであります。

恒例となりました「戦国ヒルクライム in 葦崎・甘利山」大会や、本市の夏の風物詩である「武田の里花火大会」などの開催を予定しておりますが、特に本年は、市制施行65周年に加えて、ニール生誕10周年の年でもありますので、記念の年にふさわしい企画を随所に採り入れるなど、市民の皆さまや各種団体等のご支援、ご協力をいただきながら、心に残るイベントとなるよう取り組んでまいります。

また、「にらさき 富嶽36景」が好評を得ていることから、四季折々の富士山の風景をテーマとしたフォトコンテストを開催し、引き続き、「美しい富士山を望むまち にらさき」の積極的なPRに努めてまいります。

次に、定住対策の推進についてであります。

昨年度、青少年育成プラザ・ミアキスで実施いたしました「葦崎版職場体験プログラム」の一環として、新たに協力事業所をはじめ地域の大人と中学生が生き方やキャリアを学びあうワークショップを開催します。

今後もカムバック支援事業の目指す、ふるさと回帰のための主要事業として取り組んでまいります。

また、昨年度のふるさと納税につきましては、前年度を大きく上回るご寄付をいただきました。

今後も、新たな協力事業者や返礼品の掘り起こしを通じて、地域資源の再発見や魅力向上など、地域の活性化に努めてまいります。

次に、市制施行65周年記念式典についてであります。

記念式典では、これまでの市の歩みを支えてくださった皆さまに感謝の意を表するとともに、東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、長野オリンピック・スピードスケートの金メダリストである清水 宏保氏をお招きして記念講演会を開催いたします。

夢をあきらめず、頂点に立った清水氏のご講演により市民の皆さまの夢や希望が膨らむ機会となることを期待しております。

次に、国際交流の推進についてであります。

今月29日から7月8日まで、文化交流事業としてチェコ共和国並びにフィンランド共和国を訪問いたします。

チェコ共和国では、招待を受けたメヘニツェ市において、市長表敬訪問のほか、モラヴィア地方のワイナリーの視察、福祉先進国のフィンランド共和国では、妊娠、出産から子育てまでの総合的な支援システムの研修や高齢者住宅の視察を行い、国際交流の推進はもとより、ワインの普及や福祉制度の取り組みなどを、今後の市政運営に活かしてまいります。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、先の3月議会以降の新たな行政需要に対応するため、条例等の改正のほか、予算につきましても補正の必要が生じたので対処いたしましたところであります。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

報告案件	9 件、
予算案件	2 件、
条例案件	5 件、
その他の案件	1 件であります。

まず、平成30年度予算の専決事項についてであります。

3月補正予算編成後において、地方譲与税及び特別交付税等の交付額確定、また、各種事業費の確定等により、1億1,709万9千円の増額補正の必要が生じたので、一般会計補正予算第5号を専決し、また、下水道事業特別会計におきましても事業費確定により、3,850万8千円の減額とする、下水道事業特別会計補正予算第3号を専決し、対処いたしましたところであります。

次に、令和元年度一般会計補正予算についてその概要を申し上げます。

今回の補正は、緊急性を生じた事業を中心に編成したところであります。

まず、総務費であります。

法人市民税の過年度更正により還付の必要が生じたことなどから、徴収事務費に1,666万1千円、徳島堰土地改良区総代選挙執行経費として、304万1千円を追加計上するなど、総額3,140万9千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

児童扶養手当の支払回数などの変更に伴うシステム改修経費として、児童扶養手当施行事業費に324万円、3歳児から5歳児までの幼児教育無償化に対応するシステム改修経費として、保育園運営費に316万8千円を追加計上するなど、総額1,418万5千円を増額補正しております。

次に、衛生費であります。

マイナポータルで乳幼児健診や妊婦健診などの母子保健情報を閲覧できる仕組みや市町村間で情報連携するためのシステム改修経費として、母子健康診査事業費に214万5千円追加計上するなど、総額484万7千円を増額補正しております。

次に、農林水産業費についてであります。職員の産前産後休暇取得に伴う臨時職員雇用経費として農業総務一般事務費を158万9千円増額補正しております。

次に商工費であります。

消費税率の改定が、消費に与える影響を緩和するため、低所得者や子育て世帯を対象としたプレミアム付商品券を発行する経費として、プレミアム付商品券事業費に4,897万円を追加計上するなど、総額5,197万1千円を増額補正しております。

次に、土木費であります。

国庫補助金の内示に伴い、サンコーポラス藤井住宅2号棟の外壁等改修工事の経費として、定住促進住宅改修事業費に7,694万5千円を追加計上し、持家住宅定住促進助成事業費の財源振替などとあわせ、総額7,815万6千円を増額補正しております。

次に消防費についてであります。コミュニティ助成事業を活用した自主防災組織の資機材購入費として、災害対策事業費を208万6千円増額補正しております。

次に、教育費であります。

建設から35年を経過しました旭公民館の大規模改修事業費や相埒地区公民館分館建設費補助金として、地区公民館管理運営費に6,851万7千円を追加計上

するなど、総額6,893万5千円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、2億5,317万8千円を増額補正となり、現計予算額は、143億3,417万8千円となります。

次に、特別会計についてであります。

介護保険特別会計につきましては、介護報酬改定などのためのシステム改修経費として、介護保険運営費に158万円を追加計上し、現計予算額を、27億2,081万2千円といたしたところであります。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記してありますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げ、私の所信といたします。

令和元年6月6日

葦崎市長 内藤 久夫